

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	おきなわ工芸の杜	対象年度	令和5年度
------	----------	------	-------

【 目 次 】

I.	履行確認・評価	
1.	維持管理業務	2
	(1) 清掃	
	(2) 保守・点検	
	(3) 保安・警備	
	(4) 小規模修繕	
	(5) 備品購入	
	(6) 防犯・防災対策	
	(7) 料金徴収業務	
2.	運營業務	5
	(1) 利用実績	
	1) 利用者数等（又は入居率等）	
	2) 施設稼働率	
	3) 教室・イベント等参加者数	
	(2) 運営企画	
	(3) 受付・接客	
	(4) 広報	
	(5) 情報管理	
3.	自主事業	8
II.	サービスの質の確認・評価	9
III.	財務状況の確認・評価	10
1.	事業収支	
	(1) 収入	
	(2) 支出	
2.	経営分析指標	
IV.	総合評価	12
	1. 目標	
	2. 評価結果	
附表	経営状況分析シート	13
その他	アンケート様式	14

※必要に応じて項目を追加・削除する。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	おきなわ工芸の杜		対象年度	令和5年度
指定管理者	おきなわ工芸の杜共同企業体 (構成員名:株式会社沖縄TLO、株式会社沖縄ダイケン) 指定期間:令和4年4月1日～令和7年3月31日		所管課	商工労働部 ものづくり振興課

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
日常清掃		○	基準表及び業務実施要領に基づき効率的かつ効果的に実施。	指定管理者からのヒアリング及び業務日誌等で確認。事業報告書のとおり適切に実施されている。	事業計画の通り実施されている。	良好。今後も適切な衛生管理に努める。
定期清掃		○	床面洗浄、ワックス塗布、カーペット、ガラス清掃を定期的実施。			

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
貯水槽清掃		○	1回/年	指定管理者からのヒアリング及び点検書類にて確認。事業報告書のとおり適切に実施されている。	事業計画の通り実施されている。	良好。今後も適切な衛生管理及び環境整備に努める。
植栽の除草作業		○	5回/年			
自家用電気工作物 保安全管理業務		○	月次点検12回/年 年次点検1回/年			
非常用発電機保守 点検		○	機能点検1回/年 総合点検1回/年			
空調設備保守点検		○	2回/年			
消防設備保守点検		○	機器点検1回/年 総合点検1回/年			
防火対象物定期 検査		○	1回/年			
昇降機設備保守 点検		○	月次点検12回/年 定期点検4回/年			
入退館設備保守 点検		○	1回/年			
空気環境測定		○	6回/年			
作業環境測定		○	2回/年			
飲料水水質検査 ・一般16項目 ・一般11項目 ・特殊12項目		○	1回/年			

飲料水残留塩素測定		○	1回/週	指定管理者からのヒアリング及び点検書類にて確認。事業報告書のとおり適切に実施されている。工芸機器等の定期点検については、一部作業報告書の漏れがあった。	事業計画の通り実施されている。	おおむね良好。今後も適切な衛生管理及び環境整備に努める。工芸機器等の定期点検については、作業報告書の作成漏れがないよう管理体制の適正化に努める。
簡易水道検査		○	1回/年			
排水水質検査		○	1回/年			
ねずみ・こん虫防除		○	3回/年			
局所排気装置の点検		○	12回/年			
空調室内機・全熱交換機定期点検		○	2回/年			
空調室外機簡易目視点検		○	4回/年			
工芸機器等の点検	○	○	日常点検及び定期点検(毎月)			

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
防災、空調、設備機器の保守管理		○	総合設備管理			
機械警備		○	開館日、休館日の9時～18時は指定管理者にて巡回を実施。18時以降はセンサーによる機械警備により、異常があれば警備員が現場確認。	事業報告書のとおり適切に実施されている。	事業計画の通り実施されている。	良好。今後も引き続き施設の安全確保に努める。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
補修・修繕・更新の必要が生じた場合は工事計画をサポートする。軽微な修繕による修復は速やかに対応。	○	○	故障した設備の修理。配管の防錆処理。	施設の機能維持、安全管理のための修繕が実施されていた。	状況に応じ適切に業務が実施されている。	良好。不具合への対応については今後も柔軟に対応し、施設機能の維持に努める。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
備品の購入	○		SNSによる情報発信を円滑に行うためスマートフォンを購入	報告書のとおり適切に実施されていた。	状況に応じ適切に業務が実施されている。	良好。引き続き適切な備品管理に努める。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
消防計画の策定 消防設備保守点検	○	○	防災訓練を実施 消防設備保守点 検(機器点検、 総合点検)を実施 空調、排煙窓の 点検等	指定管理者からの ヒアリング及び関 係書類にて確認。 報告書のとおり適 切に実施されてい た。	適切に業務が実 施されている。	良好。引き続き適切な安全 管理に努める。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料の徴収	○		券売機または口 座振り込みにより 施設利用料を徴 収。 領収証は窓口に て発行。	指定管理者からの ヒアリング、料金徴 収フロー図、出納 簿にて確認。事業 報告書のとおり適 切に実施されてい る。	適切に業務が実 施されている。	良好。引き続き適切な施設 管理に努める。

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	適切な管理業務が実施された。今後も来館者や入居者が安全・安心に利用できるよう、適切な施設の管理運営に努める。
--------------------	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和5年度)の主な取組改善案を記入すること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

	令和4年度実績	事業計画 (目標値)	令和5年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
利用者数及び来館者数	65,280	85,000	107,522	165%	126%	SNS等での情報発信や、イベントなどの誘致についても注力したことから、工芸関係者の施設利用や、各種イベント等を通して令和4年度よりも多くの集客を図ることができた。引き続き、工芸関係のイベント誘致や近隣施設・周辺自治体等との連携を強化し、施設の認知度向上及び施設利用者の増加に努める必要がある。
利用者数(延べ人数)	31,984	40,000	41,851	131%	105%	
施設利用(入居者)	4,923		5,785			
貸し工房	3,706		4,181			
体験工房	1,217		1,604			
施設利用(一般)	14,857		19,502			
多目的室(工芸)	6,275		6,345			
多目的室(工芸以外)	2,850		3,879			
エントランスホール(工芸)	1,155		1,550			
エントランスホール(工芸以外)	44		722			
企画展示室(工芸)	1,073		1,750			
企画展示室(工芸以外)	180		810			
共同工房(染物)	586		661			
共同工房(織物)	464		415			
共同工房(漆芸)	480		743			
共同工房(木工・三線)	1,547		1,503			
共同工房(工芸縫製)	0		310			
共同工房(金細工)	0		593			
附属設備利用	6,451		8,168			
機械器具利用	5,753		8,396			
共同工房(染物)	387		398			
共同工房(織物)	879		1,326			
共同工房(漆芸)	335		231			
共同工房(木工・三線)	4,068		4,838			
共同工房(工芸縫製)	60		1,025			
共同工房(金細工)	24		578			
来館者数	33,296	45,000	65,671	197%	146%	
一般(個人・団体)	26,691		53,799			
工芸研修生	3,252		4,313			
体験(個人・団体)	3,353		7,559			
				評価(①利用状況)	S	

【評価基準 (①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

[1] 入居率等 ※利用者数等で測れない施設は「1) 利用者数等」に代えて記載

	令和4年度実績	事業計画 (目標値)	令和5年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
入居率	83%	91%	96%	115%	105%	良好。目標値を上回る入居率となった。
22室/23室						
貸し工房(18室)	15室	17室	17室	113%	100%	
体験工房(5室)	4室	4室	5室	125%	125%	
入居率等を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。				評価(①利用状況)		

【評価基準 (①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

2) 施設稼働率

	令和4年度実績	事業計画 (目標値)	令和5年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
平均稼働率	10.1%	12.7%	13.4%	132%	106%	各工房や多目的室、エントランスホールや展示室など、ほとんどの項目において令和4年度を上回る稼働率となっている。機械器具等の利用については、備品が細かく分かれているため諸室と比較すると稼働率は低くなっている。引き続き、工芸関係者向けに施設利用の周知を強化し、各分野の関係者の利用促進を図る必要がある。
施設利用	23.6%	30.0%	31.1%	132%	104%	
貸し工房	79.2%		94.4%			
体験工房	74.4%		87.8%			
多目的室	32.4%		35.5%			
エントランスホール	15.5%		19.5%			
企画展示室	16.1%		22.5%			
共同工房(染物)	4.7%		6.6%			
共同工房(染織共通)	7.8%		8.8%			
共同工房(織物)	8.3%		6.1%			
共同工房(漆芸)	13.9%		16.0%			
共同工房(木工・三線)	31.0%		31.8%			
共同工房(工芸縫製)	0.0%		22.0%			
共同工房(金細工)	0.0%		22.4%			
附属設備利用	4.4%	5.0%	5.2%	118%	104%	
機械器具利用	2.4%	3.0%	3.9%	164%	129%	
共同工房(染物)	5.2%		5.7%			
共同工房(織物)	3.5%		5.0%			
共同工房(漆芸)	0.6%		0.4%			
共同工房(木工・三線)	4.7%		4.9%			
共同工房(工芸縫製)	0.2%		5.2%			
共同工房(金細工)	0.0%		2.1%			
平日・土日祝日別稼働率						

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

3) セミナー・ワークショップ等

	内容	令和4年度実績	事業計画 (開催数)	令和5年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
セミナー・ワークショップ	入居者・県内事業者、異業種等との交流会	2	2	2	100%	100%	良好。引き続き異業種交流会の開催や、入居者や工芸関係者を対象としたセミナー・ワークショップを実施する必要がある。
	入居者向けセミナー・WS	4	3	9	225%	300%	
計		6	5	11	183%	220%	

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
<開館日数>307日	開館日数:307日 臨時開館:1日 (12/11) 台風による臨時休館:5日 (6/1,8/1,8/2,8/4,8/5)	報告書のとおりである。	報告書のとおりである。	適切な開館日数、開館時間である。臨時開館の手続き及び台風による臨時休館の調整や周知方法も適切であった。
<開館時間>9時～18時	開館時間 9時～18時			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設案内	○		窓口業務 工芸の杜の目的・役割の説明 施設全体の案内 イベント出展者のサポートなど	報告書のとおり適切に実施されている。	計画の通り実施されている。	良好。今後も引き続き入居者や一般来館者への丁寧な対応に努める。
入居者支援	○		入居者の事業支援、相談対応、要望への対応など			

(4) 広報(情報発信)

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HPの定期更新及びSNSでの情報発信	○		施設利用及びイベントに関する情報発信を実施。SNSでは1年間で2,000人以上フォローを増やした。	報告書のとおり実施されている。	計画の通り実施されている。	良好。イベントやセミナーに関するお知らせを中心に定期的に更新されており、SNSでの情報発信の強化は来館者の増加に寄与する取組である。引き続き積極的な情報発信に努める。
工芸品及び工芸従事者に関する情報発信	○		常設展示の修正	報告書のとおり実施されている。	計画の通り実施されている。	良好。施設や工芸産業の振興のため、今後も積極的な情報発信を実施する必要がある。
			リーフレット配布			
入居者及び工芸従事者のイベント情報発信(ちらし設置等)	○		入居者及び工芸従事者のイベント情報発信(ちらし設置等)	報告書のとおり実施されている。	関係者と連携し、適切に対応している。	良好。TV番組をはじめとした取材等については、施設や工芸産業のPRのため今後も引き続き対応する。
			県・市町村、関係団体、観光業界、マスコミ等との連携			

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報保護に関する法令等を遵守し、個人情報の漏洩、改ざん等の防止及び適正管理に努める。	○		個人情報書類は施錠可能なキャビネットで保管	報告書のとおり適切に実施されている。	計画の通り実施されている。	良好。今後も引き続き適正な管理に努める。

3. 自主事業

事業計画 (当初)	事業計画 (変更)	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
		指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
ワーク ショップ 【収入】 110,000円	-	○		【実績】384,561円 ①木工ワーク ショップ 体験者:85人 ②染織ワーク ショップ 体験者:10人	報告書のとおり実 施されている。	計画の通り実施 されている。	おおむね良好。イベントの企画につ いては、工芸産業の振興のために、 工芸産地の活性化に資するイベント 等の事業を充実させながら実施する 必要がある。
イベント出 展料及び 什器等利 用料 【収入】 880,000円	-	○	【実績】73,500円 夏の工芸ものづく り体験 出展:14団体(う ち入居者6団体) 体験者数:650人				
商品販売 【収入】 1,254,000 円	-	○	【実績】1,579,999 円 工芸品の販売				
施設利用 者支援 【収入】 364,100円	-	○	【実績】311,020円 コピーサービス、 出展支援他				
イベントの 共催	-	○	【実績】 3件のイベントを 共催にて実施し、 計8,952人を集客 した。				

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	事業計画に基づき、おおむね良好に実施している。施設の認知度及び稼働率向上のため、県民等への広報及び工芸関係者への施設機器利用に関する周知を引き続き実施する必要がある。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和5年度)の主な取組改善案を記入すること。

Ⅱ. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法	アンケートおよび要望受付		回答者数	221	アンケート内容	別紙参照
評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者	現状分析・課題	
	令和4年度評価	令和5年度目標	令和5年度評価			
維持管理業務 施設・設備管理(施設について)	〈満足度〉100.0%(※1) ・とても良い82.1% ・良い17.9% ・普通0.0% ・悪い0.0% ・とても悪い0.0%	〈満足度〉80%以上	回答数(182件) 〈満足度〉94.0% ・とても良い61.6% ・良い32.4% ・普通6.0% ・悪い0.0% ・とても悪い0.0% 〈意見・要望等〉 ・施設へ誘導するオブジェやモニュメント等の環境を整えてほしい。 ・大体の入り口が地下駐車場だと思いが、上階のどこに何があるのか分かりやすい案内板があると初めての方でも戸惑わないと思う。 ・もっと宣伝したら雨の日など人が入りそう。	S	(要望への対応) 豊見城市の許可を得て城址公園園路にのぼりを設置。 1階入口の掲示物を改善。 SNSによる情報発信頻度改善。 (自己評価) 入居者及び来館者からの意見・要望に適切に対応できている。	来館者からの要望に対して適切に対応している。施設として入居者及び来館者に満足いただけるよう引き続き適切な対応に努める。
運営業務 接客対応	〈満足度〉83.9%(※1) ・とても良い46.7% ・良い37.2% ・普通16.1% ・悪い0.0% ・とても悪い0.0%	〈満足度〉80%以上	回答数(221件) 〈満足度〉87.3% ・とても良い47.5% ・良い39.8% ・普通12.7% ・悪い0.0% ・とても悪い0.0% 〈意見・要望等〉 ・見学者の受け入れ態勢を不十分だと感じた。	A	(要望への対応) 団体での来館者に対して職員による案内を実施した。 (自己評価) 一般の方や工芸関係者などからの多岐にわたる問い合わせ、相談等に適宜対応した。可能な範囲で対応できている。	窓口や電話、施設案内等について丁寧に対応している。要望については必要に応じて県と指定管理者で情報交換を行い、引き続き満足度向上に努める。
施設・設備 (施設利用の感想)	〈満足度〉93.5%(※1) ・とても使いやすい41.9% ・使いやすい51.6% ・普通6.5% ・使いづらい0.0% ・とても使いづらい0.0%	〈満足度〉80%以上	回答数(39件) 〈満足度〉82.0% ・とても使いやすい25.6% ・使いやすい56.4% ・普通15.4% ・使いづらい2.6% ・とても使いづらい0.0% 〈意見・要望等〉 ・木工工房に外部利用者が使える材料置台が複数あったら良い。 ・洗いの場の設備備品を追加いただくと作業効率が上がりもっと利用しやすくなる。検討してほしい。	A	(要望への対応) 作業台を追加した。洗いの場の備品は令和6年度に設置予定。 (自己評価) 意見・要望に適切に対応できている。	入居者及び来館者からの要望に対して、適切に対応している。県と指定管理者で情報交換を行い、利便性向上のため今後も引き続き適切な対応に努める。
利用条件(利用料金)	〈満足度〉83.9%(※1) ・とても安い51.6% ・安い32.3% ・適当12.9% ・高い3.2% ・とても高い0.0%	〈満足度〉80%以上	回答数(39件) 〈満足度〉64.1% ・とても安い17.9% ・安い46.2% ・適当20.5% ・高い15.4% ・とても高い0.0% 〈意見・要望等〉 ・木工は1時間かからないことが多いので、30分料金を設定してほしい。 ・洗いの場の利用料金を見直してほしい。	C	(要望への対応) 利用者からの要望を県に報告し、設備の利用料金や区画分け等について提案した。 (自己評価) 意見・要望に適切に対応できている。	利用条件については、県と指定管理者で情報交換を行い、今後適切に対応していく。
総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉90.3%(※1)	〈満足度〉80%以上	〈満足度〉81.8%	評価 (②満足度) A	(自己評価) 利用条件(利用料金)の満足度は64.1%であったが、その他はAまたはSの評価となった。引き続き入居者及び来館者からの意見・要望に対して可能なことは対応するよう努める。	利用者からの要望やご意見に適切に対応している。さらなる満足度向上に向け、引き続き丁寧な対応に努める。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S : 90%以上
A : 80%以上、90%未満
B : 70%以上、80%未満
C : 70%未満

Ⅱ. サービスの質の確認・評価 取組改善案	施設管理において特に満足度が高い。ご意見及び要望等に対しては随時適切に対応し、引き続きアンケートや入居者面談等から施設利用者及び来館者のニーズの把握に努める。
--------------------------	---

※「Ⅱ. サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和5年度)の主な取組改善案を記入すること。

III. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 収入

収入項目		令和4年度実績	事業計画	令和5年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
利用料金収入	施設利用料(貸し工房・体験工房)	4,607,360	5,264,027	6,100,881	132%	116%	
	施設利用料(多目的室等)	1,471,420	1,320,000	2,019,411	137%	153%	
	施設利用料(共同工房)	1,645,380	1,320,000	3,183,900	194%	241%	
	附属設備利用料	119,860	66,000	141,570	118%	215%	
	機械器具利用料	1,476,020	1,320,000	1,277,140	87%	97%	
計		9,320,040	9,290,027	12,722,902	137%	137%	
指定管理料		81,369,000	74,873,000	74,873,000	92%	100%	
自主事業収入	ワークショップ	27,000	110,000	384,561	1424%	350%	
	出展料	628,500	880,000	73,500	12%	8%	
	商品販売	233,315	1,254,000	1,579,999	677%	126%	
	施設利用者支援	389,564	364,100	311,020	80%	85%	
	計	1,278,379	2,608,100	2,349,080	184%	90%	
維持管理費	光熱水費	3,445,383	3,409,560	4,355,568	126%	128%	
	通信運搬費	138,021	132,000	147,769	107%	112%	
	共益費	313,807	316,800	418,233	133%	132%	
	計	3,897,211	3,858,360	4,921,570	126%	128%	
雑収入		37,159	0	42,000	113%	#DIV/0!	
合計(A)		95,901,789	90,629,487	94,908,552	99%	105%	
〈現状分析・課題〉							
<p>利用料金収入では、体験工房の入居事業者増や研修による利用件数増により、ほとんどの項目で計画を上回った。機械器具利用については、工芸関係者への利用周知を引き続き積極的に行う必要がある。自主事業収入の出展料については、「工芸の杜まつり」をR5年度は指定管理業務の位置づけに変更して実施したことから計画を下回った。収入全体では計画を上回る結果となったことから、引き続き施設利用者の増加に努める。</p>							

(2) 支出

支出項目	令和4年度実績	事業計画	令和5年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)	
人件費	42,532,933	40,287,000	41,514,237	98%	103%		
旅費	297,296	600,600	61,476	21%	10%		
食糧費	23,272	11,000	8,906	38%	81%		
消耗品費	1,507,198	745,737	882,450	59%	118%		
燃料費	28,522	52,800	10,815	38%	20%		
印刷製本費	300,430	330,000	428,536	143%	130%		
光熱水費	13,427,897	10,071,600	13,374,361	100%	133%		
修繕費	0	22,000	291,320	#DIV/0!	1324%		
通信運搬費	30,176	323,400	413,208	1369%	128%		
保管費	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!		
広告費	6,090	55,000	83,255	1367%	151%		
手数料	25,085	26,400	33,255	133%	126%		
保険料	61,710	68,200	61,720	100%	90%		
委託料	34,586,618	32,005,270	31,915,175	92%	100%		
使用料及び賃借料	1,886,203	1,571,548	1,580,389	84%	101%		
備品購入費	228,869	133,232	47,660	21%	36%		
負担金	8,000	0	14,700	184%	#DIV/0!		
公課費	200	13,200	200	100%	2%		
その他	1,028,700	283,800	233,700	23%	82%		
自主事業支出	1,075,507	2,608,100	5,050,148	470%	194%		
合計(B)	97,054,706	89,208,887	96,005,511	99%	108%		
〈現状分析・課題〉							
<p>想定外の機械器具の修繕により、修繕費の支出が計画を大きく上回った。光熱水費については、体験工房入居事業者の増加による影響で計画比増となっているが、他の共用部での支出を抑えるよう取組んだことから、実績額は前年度と同程度にとどめることができた。支出全体は計画額を上回っていることから、経費の削減については引き続き努める必要がある。</p>							

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 経営分析指標

評価指標	令和4年度実績	事業計画	令和5年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	-1,152,917	1,420,600	-1,096,959	95%	-77%	
収益率 (事業収支(C)/収入(A))	-1%	2%	-1%	96%	-72%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	10%	10%	13%	138%	131%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	44%	45%	43%	99%	96%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	36%	36%	33%	93%	93%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	1,487	1,050	893	60%	85%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	1,246	881	696	56%	79%	

〈現状分析・課題〉

全体の収支はマイナスとなった。指定管理料が前年度比で減額となっていることを踏まえると、増収に努め各項目において経費の見直しや削減に取組んだことが窺えるが、安定的な施設運営を行うにあたっては、さらなる収支バランスの均衡に努める必要がある。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)

B

【評価基準(③財務状況)】

収益率(事業収支/収入合計)

A: 0%以上

B: -5%以上、0%未満

C: -5%未満

Ⅲ. 財務状況の確認・評価 取組改善案	指定管理料が前年度比で減額となったが、供用開始初年度であった前年度実績を踏まえ、経費の見直しや削減を行うとともに収入の計画比増を達成した。しかし、全体の収支はマイナスとなったことから、収支均衡を図るよう施設利用者のさらなる増加に向けた取組の実施や自主事業による収入の増を図るとともに、人件費の圧縮など経費削減を行いながら引き続き効率的な管理運営に努める。
------------------------	---

※Ⅲ. 財務状況の確認・評価の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和5年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

1. 目標

評価項目	評価指標	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標設定の考え方	
成果指標	①利用状況	利用者数	110,000	120,000	120,000	120,000	施設利用者数4万人、一般来館者数8万人を目指す
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%	次年度、全項目でS評価を目指す
財務指標	③財務状況	収益率	0%	0%	0%	0%	運営継続可能な収支

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和4年度実績	事業計画(目標値)	令和5年度実績		現状分析・課題	評価(点数)	取組改善案	令和6年度目標値	
				前年比	計画比					
成果指標	①利用状況	利用者数	65,280	85,000	107,522	165%	126%	S (20)	事業計画に基づき、おおむね良好に実施している。施設の認知度及び稼働率向上のため、県民等への広報及び工芸関係者への施設機器利用に関する周知を引き続き実施する必要がある。	110,000
	②満足度	満足度	90%	80%	82%	91%	102%	A (10)	施設管理において特に満足度が高い。ご意見及び要望等に対しては随時適切に対応し、引き続きアンケートや入居者面談等から施設利用者及び来館者のニーズの把握に努める。	90%
財務指標	③財務状況	収益率	-1%	2%	-1%	96%	-72%	B (0)	指定管理料が前年度比で減額となったが、供用開始初年度であった前年度実績を踏まえ、経費の見直しや削減を行うとともに収入の計画比増を達成した。しかし、全体の収支はマイナスとなったことから、収支均衡を図るよう施設利用者のさらなる増加に向けた取組の実施や自主事業による収入の増を図るとともに、人件費の圧縮など経費削減を行いながら引き続き効率的な管理運営に努める。	0%
活動指標	④重点取組事項	入居者向けセミナー・WS	4	3	9	225%	300%	S (10)	R6年度は入居最終年度となる入居者が多数おり、ハンズオン支援がより重要なものとなる。民間企業としてのノウハウを活用し、引き続きセミナーやワークショップの実施及び内容の充実に努める必要がある。	4
総合評価		供用開始初年度であった前年度実績を踏まえ、ニーズに合わせた入居者支援を継続しつつ施設利用者数の増加に努め、財務状況の改善に取り組むなど、おおむね良好に運営している。今後も引き続き経費の見直しや削減を行うとともに、自主事業等の実施によって財務状況の安定化を図り、施設利用者の増加及びさらなる満足度向上に努める必要がある。						S (40)		

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。

※「総合評価欄」には、「モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。

※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

※「令和5年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

- S : 110%以上
- A : 100%以上、110%未満
- B : 80%以上、100%未満
- C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度(各評価項目の平均値)

- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

③財務状況

収益率(事業収支/収入合計)

- A : 0%以上
- B : -5%以上、0%未満
- C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

- S : 目標を大きく上回る
- A : 目標を概ね達成
- B : 目標を下回る
- C : 目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

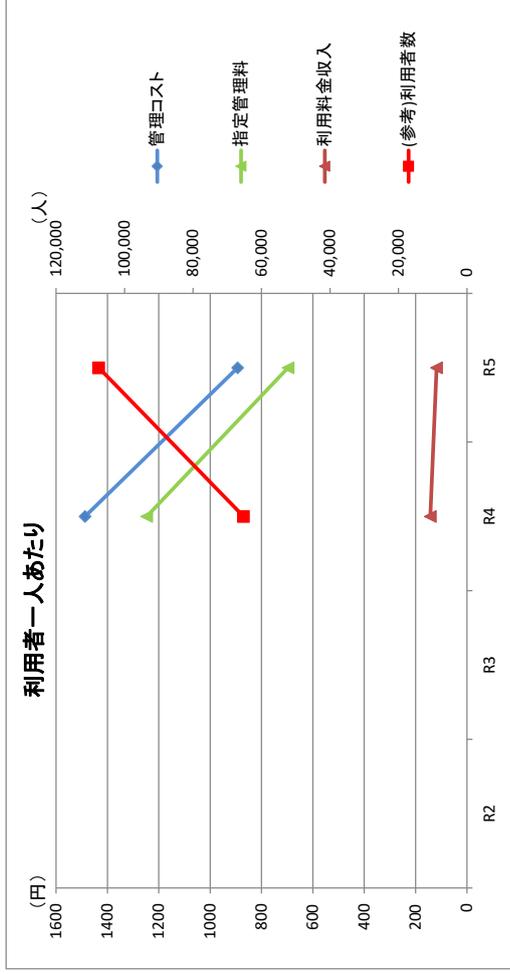
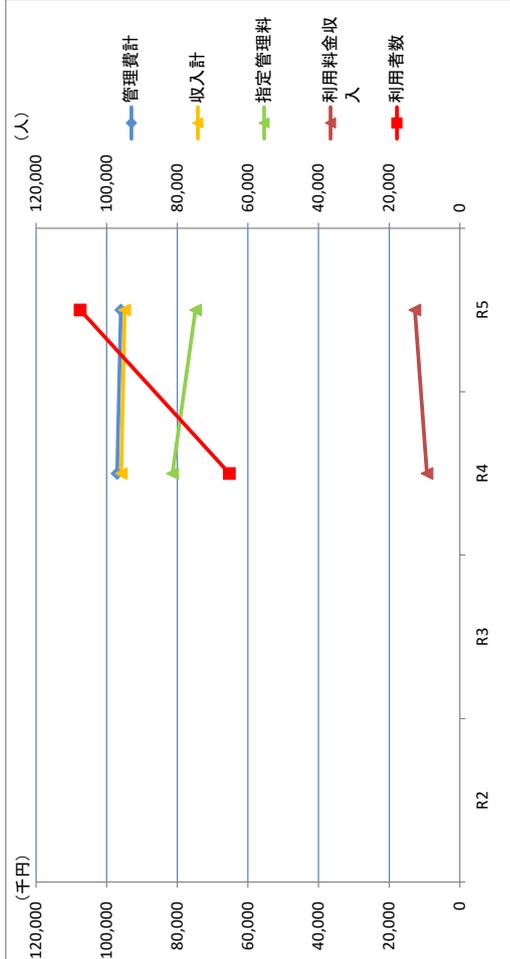
【総合評価基準】

総合評価基準	
S	40点以上 <small>かつ各評価項目においてC評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート【施設名称:おきなわ工芸の村】

成果指標	指標		指定管理					
	目標	実績	単位	R1	R2	R3	R4	R5
利用者数	目標	実績	人				70,000	85,000
	目標比	実績比	%				93.3%	126.5%
	R4比	R4比	%				-	164.7%
財務指標	指定管理料	千円					81,369	74,873
	原負担割合(指定管理料/管理費計)	%					83.8%	78.0%
	利用料金収入	千円					9,320	12,723
	利用料金比率(利用料金収入/収入計)	%					9.7%	13.4%
	維持管理費	千円					3,897	4,921
	維持管理費比率(維持管理費/収入計)	%					4.1%	5.2%
	自主事業収入	千円					1,278	2,349
	自主事業比率(自主事業収入/収入計)	%					1.3%	2.5%
	雑収入	千円					37	42
	雑収入比率(雑収入/収入計)	%					0.0%	0.0%
収入計	千円					95,901	94,908	
管理費計	千円					97,054	96,005	
収支	千円					-1,153	-1,097	
収支率(収支/収入計)	%					-1.2%	-1.2%	
一人あたり管理コスト	円					1,487	893	
一人あたり指定管理料	円					1,246	696	
一人あたり利用料金収入	円					143	118	

※施設の特徴に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。
 ※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理費制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理費制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



実績変動の要因分析

令和5年度 イベント等の件数が増加したことに伴い来館者数が増加し、利用者一人あたりの管理コストが低下した。

令和4年度 開館初年度のため省略。

令和3年度 -

令和2年度 -

9. おきなわ工芸の杜スタッフの対応はどうでしたか

とても良かった 良かった 普通 悪かった とても悪かった
理由（ ）

10. ご意見・ご要望がありましたらご記入ください

ご協力ありがとうございました

◇当館からの情報発信を希望する方は、メールアドレスをご記入ください。

※いただいた個人情報は、情報発信以外に利用しません。

メールアドレス（ ）

9. おきなわ工芸の杜スタッフの対応はどうでしたか

とても良かった 良かった 普通 悪かった とても悪かった
理由（)

10. ご意見・ご要望がありましたらご記入ください

ご協力ありがとうございました

◇当館からの情報発信を希望する方は、メールアドレスをご記入ください。

※いただいた個人情報は、情報発信以外に利用しません。

メールアドレス（)